

令和7年度 第38回ヒゴタイ交流生 来村 (令和7年9月28日～10月18日)

産山学園を訪れ、学園生や職員の熱烈な歓迎を受ける12名の
カセサート校の交流団の皆様



送別式典のアトラクションで、タイ舞踏(タイダンス)を披露する4人の交流生



交流生のきらびやかな姿としなやかな動きが生み出す独特の世界観に、式典参加者は魅了されていきました。

参加者のアーチの中を微笑みながら、ハイタッチで退場していった交流団の皆様方。これまでのヒゴタイ交流38年の歴史は「お互いの絆が未来につながる」ことを証明してきました。

ここ産山での交流体験を生かし、タイ国と日本国の架け橋となって、希望に満ちあふれた未来を力強く創りあげていくことをお祈りいたします。

交流団の方々並びにホストファミリーの紹介



①名前

ナットニティ
プロムヒランゲン先生
ニックネーム:バンク

②名前

タッテープ
ブアボラテープさん
ニックネーム:ノーベル

④名前

ナリッサー
スッドプラソートさん
ニックネーム:ピッター

③名前

カンタニット
カンジャナコットさん
ニックネーム:ソマ

⑤名前

プリームパット
スリーシューシンさん
ニックネーム:プリーム



①

井さんファミリー 7年生



②

飯野さんファミリー 9年生



③

モーランさんファミリー 9年生



④

碓井さんファミリー 9年生



⑤

宮川さんファミリー 8年生

各ホストファミリーの皆様方、交流生及び引率の先生がこの3週間、笑顔で過ごすことができましたことにまずもって感謝申し上げます。
ご心配やお心遣い等もあったかと思いますが、おかげさまで、5名は満ち足りたかけがえのない産山でのひと時を過ごすことができた実感しております。

▽ 歓迎式典・歓迎レセプション ▽



歓迎式典・歓迎レセプション

9月29日に農林水産省九州農政局地方参事官様、熊本県教育庁市町村教育局義務教育課長様をはじめ、多くの来賓の方々をお招きして、産山学園体育館にて盛大に歓迎式典を執り行いました。また、同日夜には交流団との親睦を深めるために、UBUYAMA PLACEにて歓迎レセプションが行われました。

▽ 産山学園での学園生活の様子 ▽



7～9年歓迎会



7年国語の授業



4年生紙すき体験



昼休みの自由遊び



1・2年英会話活動



全学年紙飛行機とばし大会



全学年交流遊び



記念植樹



7～9年お別れ会

交流生は7年と8年に2名ずつ在籍し、8年の2名は最後の1週間を9年教室で過ごしました。3週間、本学園生と通常の教育活動を行い、英会話の授業では1から9年生までの全学年と英語で交流を深めました。特設授業としては、音楽担当が箏の指導を、体育担当が剣道の指導を行いました。また、課外活動として、バトミントン部の部活動にも3週間継続して参加しました。昼休みは前期課程の学園生と運動場で鬼ごっこやブランコをして楽しむ姿が多く見られました。

地域体験・交流活動



着付け体験活動

地域ボランティアの方4名に着物の着付けをご指導いただきました。着付け後に、茶道の作法や日本の踊りといった伝統芸道も教えていただきました。着こなしもばっちりきまっています。



料理・陶芸体験活動

地域ボランティアの方4名（料理3名、陶芸1名）にご指導いただきました。料理体験では、巻き寿司作りに挑戦。包丁で野菜を切ったり、寿司を巻いたり、指導いただいたことを丁寧に実践できました。陶芸体験では、手びねりで成形を行いました。



ほっと館・保育園訪問

村の施設を代表して、ほっと館と保育園を訪問しました。自己紹介・タイダンス披露・記念品贈呈を行いました。交流生の挨拶やタイダンスに、お年寄りや園児から歓声が湧き起こっていました。

表敬訪問・阿蘇中央高校での交流活動



県関係表敬訪問

九州農政局、熊本県知事部局、熊本県教育庁及び熊本県阿蘇教育事務所を訪問しました。熊本県の訪問では、県庁プロムナードにて、熊本地震からの創造的復興に向けたシンボルである『ONE PIECE』の「ルフィ」像と記念撮影を行いました。



阿蘇中央高校体験活動

阿蘇中央高校で、日本の伝統文化等に触れる学習として、書道・農業及び剣道体験をしました。書道では高校生の先輩方から止めや払いの仕方を優しく教えていただきました。最後に自分の好きな漢字一字をうちわに書きしるしました。

表敬訪問では、自己紹介や自分の将来の夢、質問事項などについて、しっかりと丁寧に表現する交流生の姿が目につきました。礼儀を重んじ、誰に対しても謙虚に笑顔でかかわろうとする交流団の方々のふるまいに、逆に学ぶべき点が多かったように思います。

随団日記

(歓迎式典・レセプション除く)

カセサート校の先生方も来村！

令和7年9月28日（日）～30日（火）

本年度は、交流団に併せてカセサート校の管理職の先生方7名が来村されました。

9/28（日）に福岡国際空港からそのまま宿泊地である阿蘇市へ。翌日、市原村長への表敬訪問や歓迎式典への出席があるため、産山村へ向かう途中に城山展望から阿蘇カルデラを一望しました。壮大な阿蘇の風景にビックリ、産山村への期待感に胸を膨らませていました。



- | | | | |
|-------|---------------------|-------------------------|--------------------|
| ① 校長 | パカマース/ナンタジーヴォラワット先生 | ⑤ 副校長 | シワリー/リーシリワッタナクン先生 |
| ② 副校長 | スヴィグロム/マープラニート先生 | ⑥ // | ジッティマー/ピサパーク先生 |
| ③ // | オラワン/クハペンセーン先生 | ⑦ 日本語教師 | ジェンウィット/トアパッタナナン先生 |
| ④ // | ウォラワン/スリーソクラーム先生 | （＊カセサート校は小中高のため、副校長が多い） | |



表敬訪問：随行団による村長への表敬訪問が行われました。和やかな中にも、これからのヒゴタイ交流への熱い会話がなされ、固い絆が再度確認されました。



郵便局散策：表敬訪問後、役場玄関を出たら、郵便局の赤いポストが気になり局内を見学、中にはタイ国へ自分あてのハガキを出す先生もいました。ちょっとした小物も購入されたようです。



阿蘇神社・門前町散策：入国日の福岡国際空港から、先ず訪れたのは阿蘇神社でした。違う宗派でも、日本文化に興味を持ち拝礼していました。その後、門前町で買い物を行うなど楽しんでいました。



村内観光：産山地区の扇棚田からヒゴタイ公園、そして池山水源へ。「産山村はパワースポットがいっぱいですね！」と清涼感を満喫しながら心身ともに癒されていました。お昼は山水亭で名物のオムライス等、それぞれ違うメニューをチョイスし、シェアしながらおなかを満たしていました。



阿蘇火山博物館・火口見学：火山博物館では常務理事様より歓迎の挨拶をいただいたあと、担当者から館内の各ブースごとに説明を受けながら見学しました。その中で、阿蘇カルデラの成り立ちや、先人からの阿蘇とともに生きる文化を学び、世界に誇る阿蘇を再確認していたようでした。また、朝方まで規制されていた火口も見学ができ、立ち込める蒸気や熱水を眺め感動したようです。